PDF版

ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。
この資料並びにコンテンツは、著作権等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記の条件でのみ利用することが出来ます。

1. お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、および使用することができます。

2. お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示および使用条件を一緒に付す必要があります。

3. お客様はこの資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社および当社の関係会社は、お客様に対してこの資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権およびその他の知的財産権をライセンスするものではありません。並びに資料およびコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。
またこの資料、並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権の表示、使用条件を遵守する必要があります。

※このコンテンツはＷｅｂ上での使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書と同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

※この資料並びにコンテンツの内容は、それぞれの商品の発売時点のものです。

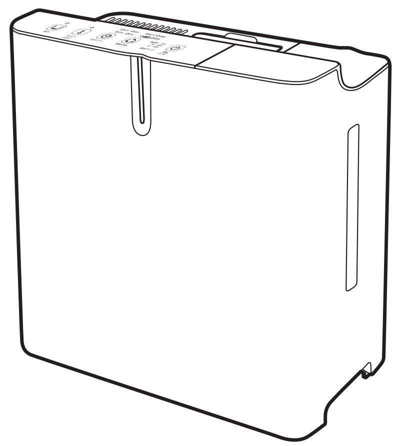
※デザイン、仕様は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

感動をデザインします
TWINBIRD

家庭用

湿度センサー付
ハイブリッド加湿器

SK-D966
取扱説明書



■このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
■この取扱説明書は必ず保管し、必要なときにお読みください。
■この製品は一般家庭用です。
業務用などにご使用にならないでください。

RX1010B

●もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください。

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●表示の説明

⚠警告　「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	⚠注意　「傷害を負うまたは物的損害が発生することが想定される」内容です。

●図記号の説明

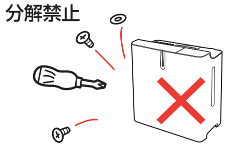
は、してはいけない「禁止」の内容です。	は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠警告

幼児や子供に使用させたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。（禁止）
事故ややけがの恐れがあります。

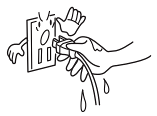
吹出口や吸気口、すきまに指やピン、針金、金属物などの異物を入れないでください。（禁止）
内部に触ると感電や異常動作をしてけがをすることがあります。

絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。（分解禁止）



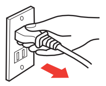
発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店または、「お客様サービス係」にご相談ください。

電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。（ぬれ手禁止）



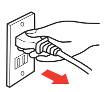
感電の原因になります。

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。（プラグを抜く）



感電やけがをすることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜いてください。（強制）

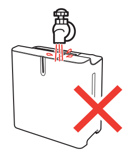


電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になることがあります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。（禁止）
（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしない。）
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

排水は、トレイを取り出してから行い、本体から直接は排水しないでください。（水ぬれ禁止）
本体内部に水が入り、感電・ショート・発火の原因になります。

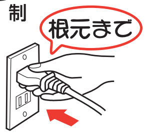
本体を水につけたり、水をかけたり、本体に直接水を入れたりしないでください。（水ぬれ禁止）



本体内部に水が入り、感電・ショート・発火の原因になります。

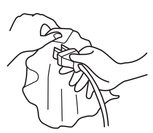
お手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤は使わないでください。（禁止）
洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害することがあります。

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。（強制）



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとってください。（強制）



電源プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

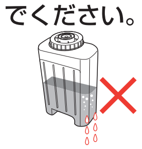
異常時（水漏れ、こげくさいにおいなど）は、運転を停止して電源プラグを抜いてください。（プラグを抜く）
火災・感電の原因になります。
運転を停止して、お買い上げの販売店または、「お客様サービス係」にご相談ください。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。（禁止）
感電やショート・発火の恐れがあります。

交流100V以外では使用しないでください。（禁止）
火災・感電の原因になります。

⚠注意

タンクを落としたり、ぶつけたりしないでください。（強制）



タンクが破損すると水漏れ・空気漏れが発生し水があふれ出ることがあります。

不安定な場所に置かないでください。（禁止）
じゅうたん等の上、傾斜した場所や高い場所など不安定な場所に置かないでください。転倒すると水がこぼれる原因になります。

使用中や使用直後は持ち運びをしないでください。（禁止）
水がこぼれたり、感電する恐れがあります。

家具・壁・カーテン・天井などの近くで使わないでください。（禁止）
シミがついたり、カビの発生、変形・変色の原因になります。

水道水以外は使わないでください。（強制）
（一般に水道水は塩素殺菌処理をされており、雑菌が繁殖しにくいためです。）
ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などを使用すると、水あかが多くなったり、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。

直射日光のあたるところや暖房器具の上や近くに置かないでください。また、寒い場所から急に暖かい場所に移動して使用しないでください。（禁止）
タンク内の空気が膨張し、水があふれ出ることがあります。
プラスチック部分が変形、変質することがあります。

加湿フィルター・吸気フィルターをはずしたまま使用しないでください。（禁止）
故障の原因になります。

壁際や窓際、エアコンの風があたるところに置かないでください。（禁止）
湿度センサーが正しく動かない原因になります。

タンクの水は毎日新しい水道水と入れかえ、本体内部は常に清潔に保つよう、週1回以上、定期的にお手入れしてください。（強制）
お手入れせずにお使いになると、汚れや水アカにより、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。まれに体質によってはカビや雑菌に対し過敏に反応し、健康を害することがあります。この場合は、医師に相談してください。

移動時は、運転を止めて、タンクを取り出し、トレイ内の水を捨ててから運んでください。（強制）
水がこぼれて家財などをぬらす原因になります。

長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。タンク・トレイの水も捨ててください。（強制）
絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

暖房機・テレビなどの電化製品の上や近くで使用しないでください。（禁止）
転倒すると感電・ショートの原因になります。

凍結の恐れがあるときは、タンクとトレイの水を捨ててください。（強制）
凍結したまま使用すると故障の原因になります。

吹出口・吸気口をふさがないでください。（禁止）
変形や故障の原因になります。
カーテンなどで吹出口、吸気口、湿度センサーをふさがないような場所に置いてください。

使用しないときは水を捨ててください。（強制）
タンク・トレイに水を入れたまま放置すると、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。

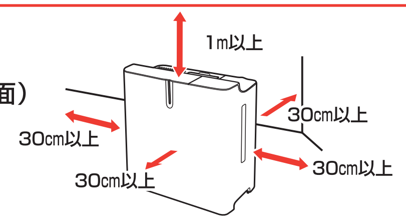
同じ場所で長時間ご使用の場合は、製品下部や床周辺などの汚れに注意してください。（強制）
シミがついたり、カビの発生、変形、変色の原因になります。

テレビやラジオ、電子レンジなど、磁気が出るものの近くで使用しないでください。（禁止）
製品が誤動作したり、映像の乱れや雑音の原因になります。

本体の上に乗ったり、腰かけたり、物を載せたりしないでください。（禁止）
事故やけが、故障の原因になります。

設置場所

壁・家具などから30cm以上離してください。（側面、背面）上面は1m以上離してください。（禁止）
カーテンなどで吹出口・吸気口・湿度センサーをふさがないような場所に設置してください。

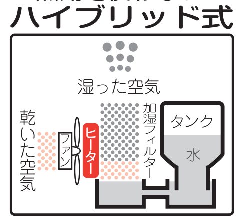


加熱気化式（ハイブリッド）加湿について

加熱気化式加湿とは、加湿フィルターに風を当てて加湿する「気化式」と、ヒーターで風を温風にして気化を補助する「加熱式」を組み合わせた方式です。

湯気（蒸気）や霧は見えません。
加湿フィルターに風を当てて、水が気化した空気を吹き出す加湿方式（加熱気化式）なので、スチームファン式や超音波式のように湯気（蒸気）や霧は見えません。

熱湯を使わない
ハイブリッド式



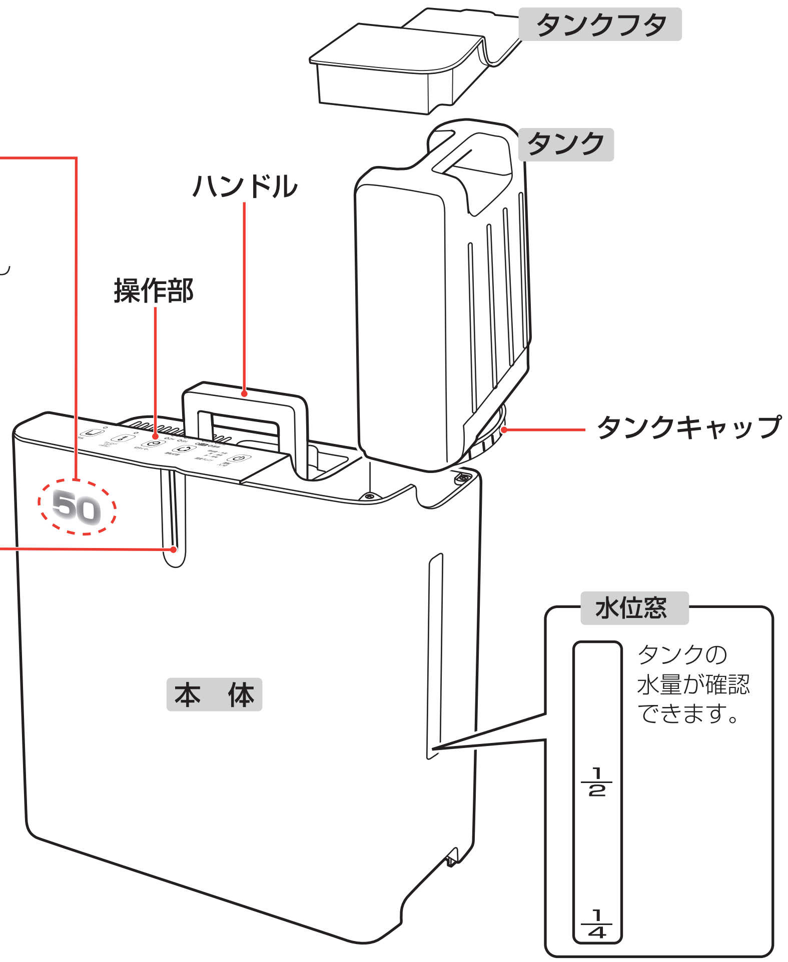
各部の名称とはたらき

前　面

湿度表示（透けて光ります）
現在の湿度を表示します。
！運転が「切」のときは、表示しません。運転を「入」にすると約30秒後に表示します。
！運転開始直後は「‐‐」と表示します。30秒後に湿度表示されます。

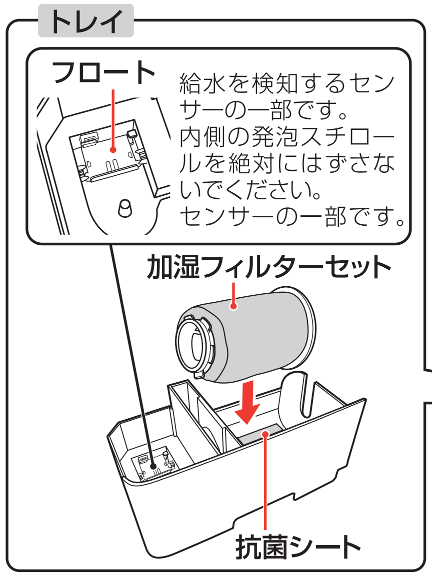
湿度ランプ
現在の湿度状態を色で表示します。
〈現在湿度の目安〉
- オレンジ…多湿:約60%以上
- 青…………適湿:約40～60%未満
- 赤…………乾燥:約40%未満

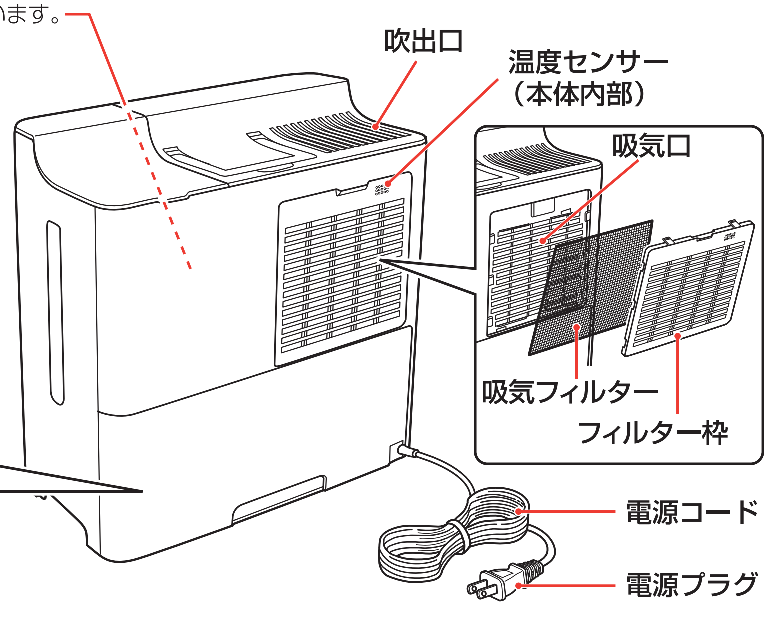
お知らせ
現在の湿度が60%前後もしくは40%前後のとき、湿度表示と湿度ランプの表示が一致しないことがあります。



背　面

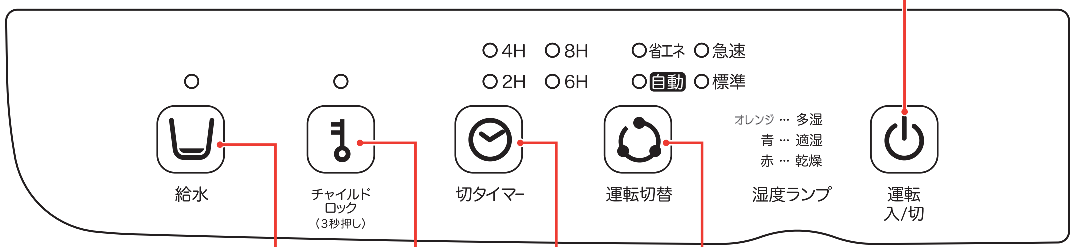
転倒OFFスイッチ 本体内部に搭載されています。
転倒時、自動的に電源が「OFF」になります。





操作部

運転スイッチ
運転の「入」「切」操作を行います。
押すと"ピッ"とブザーが鳴り、「自動」モードで運転を開始します。
もう一度押すと、クールダウン運転（ファンのみ動作）を約30秒間行った後、自動で運転停止します。



給水ランプ
タンクの水がなくなると"ピッピッ"とブザーが5回鳴り、ランプが点滅してお知らせし、運転が自動停止します。
タンクに水を給水し、本体にセットしてから運転スイッチを2回押すと、給水ランプが消灯し、運転を開始します。

チャイルドロックスイッチ
お子さまなどによるいたずら操作を防止するときに使用します。
約3秒間押すと"ピッ"とブザーが鳴り、ランプが点灯してチャイルドロックが設定されます。
チャイルドロックをすると、運転スイッチ「切」の操作以外のスイッチ操作ができなくなります。
解除するときは、再度約3秒間押します。"ピッ"とブザーが鳴り、ランプが消灯し、解除されます。

運転切替スイッチ
運転モードを選択します。
押すと"ピッ"とブザーが鳴り、選択したモードランプが点灯します。
押すごとに、切り替わります。

（ピッ）自動→（ピッ）省エネ→（ピッ）標準→（ピッ）急速（→自動に戻る）

切タイマースイッチ
設定した時間（2時間、4時間、6時間、8時間）を運転し、自動停止します。
押すと"ピッ"とブザーが鳴り、設定したタイマー時間のランプが点灯します。
押すごとに切り替わります。

（ピッ）2H（2時間）→（ピッ）4H（4時間）→（ピッ）6H（6時間）→（ピッ）8H（8時間）→（ピッ）消灯（連続運転）（→2Hに戻る）

切タイマーを使用する場合は、タンクの水量を確認してください。
（水が少ないと、設定時間より早く停止することがあります。）

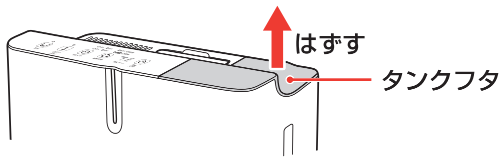
お知らせ

湿度表示及び湿度ランプは目安としてお使いください。
- 本体内部の湿度センサーで検知した湿度を表示します。
- 急激な温度・湿度変化や設置状況などの影響により、正しい湿度表示をしないことがあります。
- お手持ちの湿度計の表示と差が出ることがあります。
- 湿度は温度の変化に応じて値が変わります。
- 空気の流れが良いところと悪いところでは、湿度が異なることがあります。

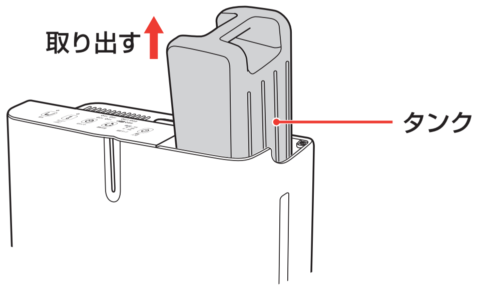
使いかた

準　備…タンクに水を入れます。

1. 本体を水平な場所に置き、
タンクフタをはずします。



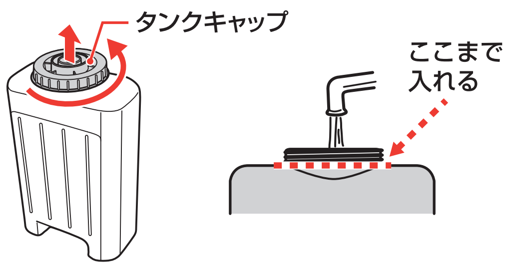
2. タンクを本体から取り出します。



⚠注意

- タンクを落とさないように注意してください。
- 本体に直接水を入れないでください。
本体内部に水が入り、感電・ショート・発火の原因になります。
- タンクを取り出すときに、タンクからしずくが落ちる場合がありますので、注意してください。
水がこぼれたまま放置すると、床を腐食させる恐れがあります。製品下部や床を定期的に清掃してください。

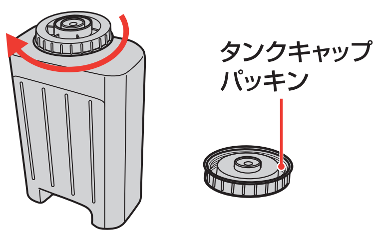
3. タンクキャップをはずし、タンクに水を入れます。



⚠注意

- 必ず水道水（飲用）を入れてください。
一般に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいためです。
- 水を入れるとき、タンクから水があふれ出ないように注意してください。
- 40℃以上の水や化学薬品・汚れた水・芳香剤や洗剤などは入れないでください。
本体の変形や故障の恐れがあります。
- 浄水器の水・アルカリイオン水・ミネラルウォーター・井戸水などは入れないでください。
カビや雑菌が繁殖する原因になります。

4. 給水後、タンクキャップをしっかりと締めます。



お願い

- タンクキャップパッキンがタンクキャップに取付けてあることを確認してください。
- 水漏れがないことを確認してください。
- タンクキャップをしっかり締めてください。
締めにくいときは、キャップを開ける方向に一度回し、タンクとかみ合わせてください。

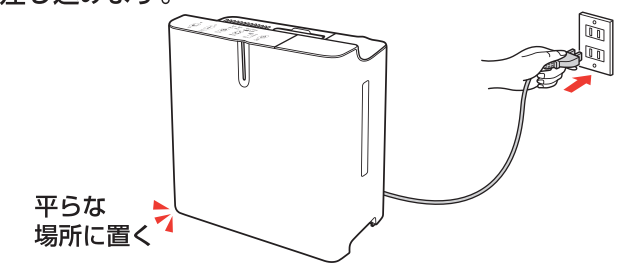
5. タンクを本体にセットし、タンクフタを締めます。

⚠注意

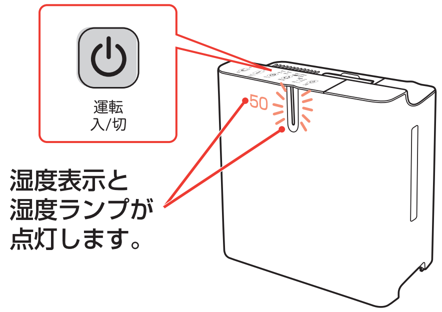
加湿フィルター、吸気フィルターをはずしたまま使用しないでください。故障の原因になります。

運 転 す る

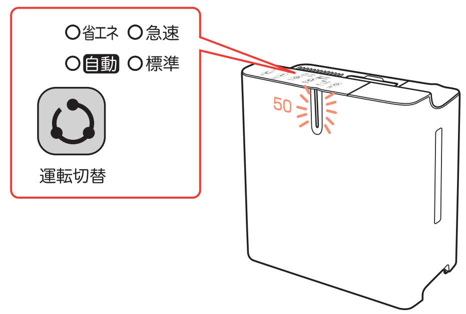
1. 本体を水平な場所に置き、
電源プラグをコンセントに差し込みます。



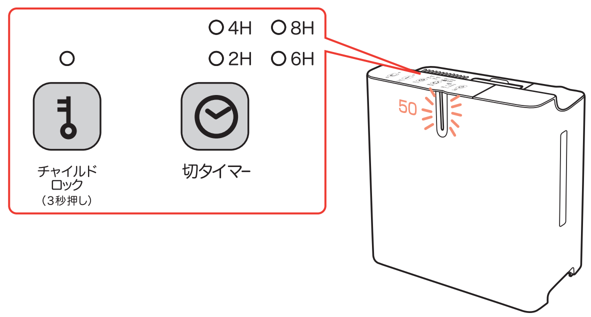
2. 運転スイッチ を押します。



3. 運転切替スイッチ を押して、運転モードを選択します。
「運転モードについて」（7ページ）をご覧ください。



4. 必要に応じ、切タイマー、チャイルドロックを操作します。
（4ページをご覧ください。）



使いかた（つづき）

運転モードについて

運転切替スイッチを押して選択します。
押すごとに切り替わります。

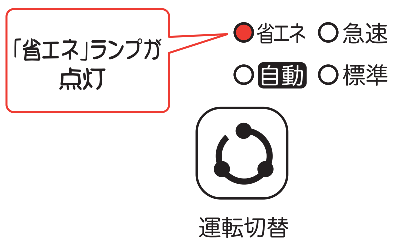
自動→省エネ→標準→急速

自　動



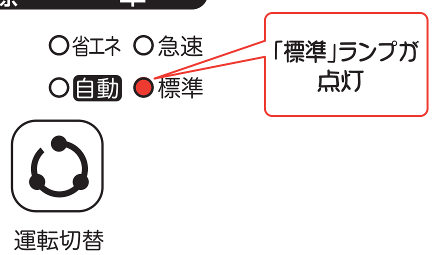
お部屋の湿度をチェックしながら、快適湿度（約50〜60%）を保つように、風量・ヒーターの運転を自動でコントロールします。

省　エ　ネ



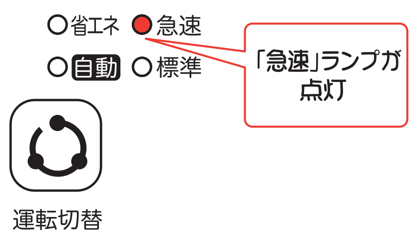
風量「弱」・ヒーター「切」で運転します。
消費電力や運転音を抑えて加湿したいとき、湿度をキープしたいときにおすすめします。

標　準



風量「弱」・ヒーター「入」で運転します。
運転音を抑えたいときにおすすめします。

急　速



風量「強」・ヒーター「入」で運転します。
すばやく湿度を上げたいときにおすすめします。

運転を停止する

1. 運転スイッチ（⏻）を押します。

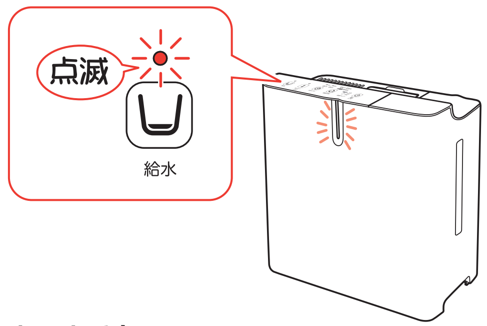
2. クールダウン運転（ファンのみ動作）を約30秒間行った後、自動停止します。

お知らせ

- ハイブリッド加湿は、水が低温で蒸発しているため湯気（蒸気）や霧は見えません。
- 運転時にタンクから「ポコポコ」という音がしますが、水を供給するときに発生する気泡によるもので異常ではありません。
- 運転時に、本体の電気部品から「カチッ」という音がすることがありますが、異常ではありません。
- 湿度や湿度の条件によって加湿量が変化します。
  湿度の高いときや室温の低いときは、水が気化しにくく、加湿量が低下します。
- 運転停止直後や部屋が寒いときは、タンクフタや水位窓内側が結露することがありますが、故障ではありません。

給水ランプが点滅したときは

タンクの水がなくなるとブザーと給水ランプの点滅でお知らせします。
運転は自動停止します。



〈給水後に運転を開始するとき〉

1. タンクに水を入れて本体にセットします。
（5ページをご覧ください。）

2. 運転スイッチ（⏻）を押して、一旦「切」にします。

3. 再度、運転スイッチ（⏻）を押して、運転を開始します。

「自動」モードで運転が開始されます。

お願い

- 長期間ご使用にならないときは、節電のため電源プラグを抜いてください。
（運転停止の状態でも約1Wの電力を消費しています。）
- 凍結の恐れがあるときは、タンクとトレイの水を捨ててください。
  また、トレイの水が凍結した状態で運転しないでください。

使いかた（つづき）

使い終わったら

1. クールダウン運転（約30秒間）が終了し、本体の運転が停止していることを確認します。

2. 電源プラグをコンセントから抜きます。

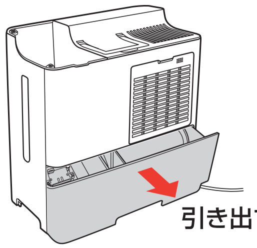
3. タンクフタを開けてタンクを取り出し、タンクに残った水を排水します。

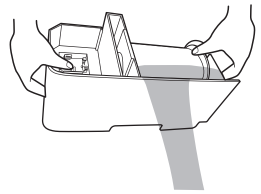


タンク内の水は、毎日新しい水と入れ替えてください。
きれいな水を少し入れ、振り洗いしてください。

⚠注意
タンクを落とさないように注意してください。

4. トレイを本体から引き出し、トレイに残った水を排水します。



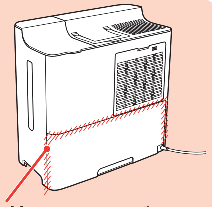


トレイの排水の際は、加湿フィルターセットが落ちないように手でおさえて排水してください。

排水後、加湿フィルターセット、抗菌シートが確実にセットされていることを確認してください。

5. トレイ・タンク・タンクフタを本体にセットします。

⚠注意
- トレイを引き出すときは、先にタンクを取りはずしてください。引き出せません。
- トレイを引き出すときは、本体内部に水がこぼれないよう注意しください。
  本体内部にこぼれた場合は、すぐにふき取ってください。
- トレイの出し入れは、本体が動かないように押さえてゆっくり行ってください。
- トレイは本体との間にすき間がないように、しっかり取付けてください。
  運転していても加湿されない原因になります。
- タンクの水は、毎日新しい水道水と交換してください。
  変色、悪臭の原因になります。

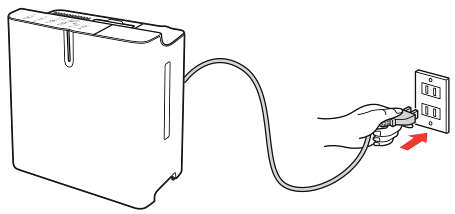


トレイは本体とすき間がないように取付けてください。

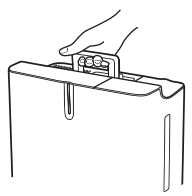
持ち運ぶとき

！製品を持ち運ぶときは、運転を停止してください。

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。



2. ハンドルを持ち、水平に持ち運びます。



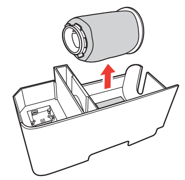
⚠注意
- 傾けたり、ゆすったりしないでください。
- タンク、トレイに水が残っている場合は、こぼれる恐れがあります。必ず、排水してから、持ち運んでください。

お手入れと保管

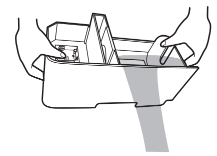
トレイのお手入れ…1週間に1回程度

トレイの水が汚れたり、内面が水あかでヌルヌルしたときは、お手入れをしてください。
排水するときは、必ず本体からトレイを取り出してください。

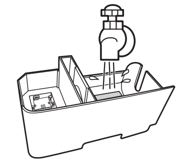
① 加湿フィルターセットをはずします。



② トレイに残った水を排水します。

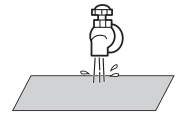


③ トレイ内を水洗いして汚れを落とします。



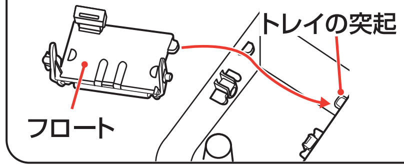
細部は綿棒や歯ブラシなどで汚れを落とします。
トレイの外側の水気はふき取ってください。
！フロートは、はずさないでください。
！発泡スチロールもセンサーの一部です。絶対にはずさないでください。

④ 抗菌シートを軽くすすぎます。

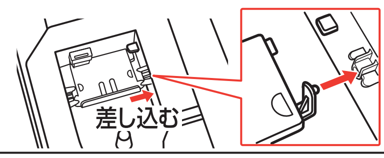


フロートがはずれたとき

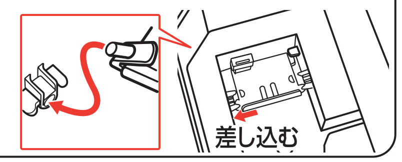
① トレイの突起の下にフロートを入れます。



② フロートの片側の軸をトレイの穴に差し込みます。



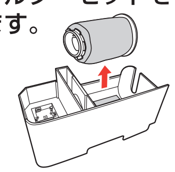
③ 反対側の軸も同様に穴に差し込みます。



加湿フィルターのお手入れ…1ヶ月に1回程度

吹き出す空気がにおったり、加湿フィルターに水あか（白いかたまり）が付着し、
加湿量が低下したときはお手入れしてください。

① 加湿フィルターセットをトレイからはずします。



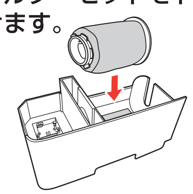
② 加湿フィルターキャップを矢印の方向にまわしてはずします。
加湿フィルターを加湿フィルター軸から引き抜きます。



③ 加湿フィルターは、水かぬるま湯で押し洗いをします。
加湿フィルター軸、加湿フィルターキャップは歯ブラシ等で水洗いをしてください。

④ 加湿フィルター軸に加湿フィルター、加湿フィルターキャップを取付けます。

⑤ 加湿フィルターセットをトレイに取付けます。

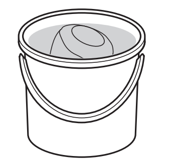


〈加湿フィルターの汚れやにおいが気になる場合〉

① ぬるま湯（約40℃）1.5Lあたりクエン酸約10g（大さじ1杯）を入れて溶かします。
- クエン酸は薬局・薬店でお求めになれます。

② 加湿フィルターを約2時間つけておきます。

③ 水道水ですすぎ洗いをします。
きれいな水を使用してください。
水を入れ替えて2〜3回繰り返します。



お願い
- 加湿フィルターはブラシなどでこすったり、洗濯機で洗わないでください。
  また、縮みの原因になりますので乾燥機で乾かさないでください。
- すすぎが不十分ですと、クエン酸のにおい、本体の変形、変色の原因になります。
- クエン酸は幼児の手の届かないところで保管してください。

加湿フィルターの表面には、使用とともに赤茶色や白い固まりが付着します。これは水道水に含まれる不純物（カルシウムなど）のためで異常ではありません。

加湿フィルターの交換について

加湿フィルターの交換時期の目安は、約10シーズンです。
（1日8時間運転、1シーズン6ヶ月間使用の場合）

水質によって寿命が変わるため、次の場合は交換してください。
- お手入れしても異臭がする。
- 加湿されない。（タンクの水が減らない。）
- 加湿フィルターの傷みがひどい。

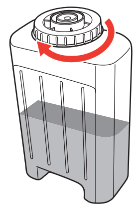
廃棄するときは、不燃物として廃棄してください。

製品番号：SK-FT12 製 品 名：加湿フィルター	詳しくは13ページ「部品・消耗品について」をご覧ください。

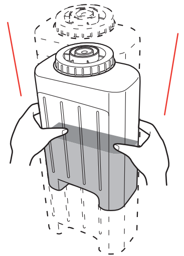
お手入れと保管（つづき）

タンクのお手入れ…毎日

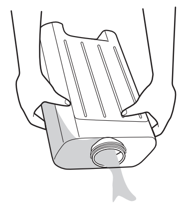
① タンクに水を入れ、キャップを締めます。



② タンクを振り洗いします。

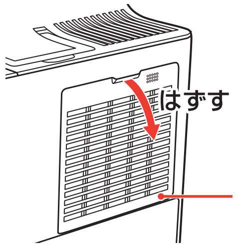


③ タンクの水を排水します。

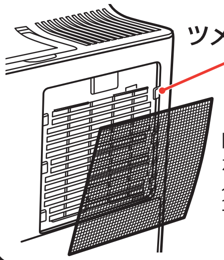


吸気フィルターのお手入れ…１週間に１回程度

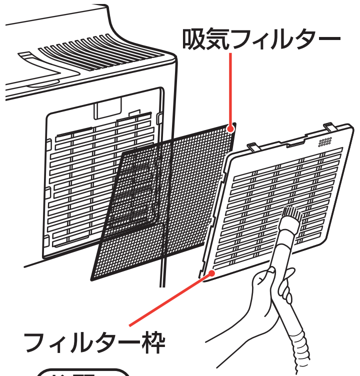
① 本体背面からフィルター枠を取りはずします。



吸気フィルターのセット方法

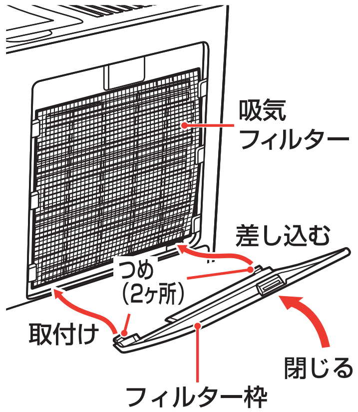


② 掃除機でフィルター枠と吸気フィルターのほこりを吸い取ります。



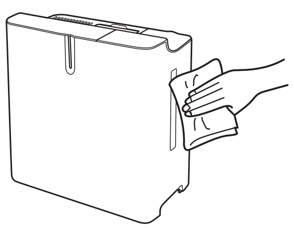
お願い
吸気フィルターが掃除機に吸い込まれないように注意してください。

③ 吸気フィルターとフィルター枠を本体に取付けます。



お願い
吸気フィルターを本体に確実に取付けてください。

本体のお手入れ…１ヶ月に１回程度



やわらかい布で本体の汚れをふき取ります。
汚れが落ちにくい場合は、台所用洗剤をうすめ、布に浸してからよくしぼってふき、その後乾いた布でふき取ってください。

⚠注意



シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類は、変質・変色の恐れがありますので使用しないでください。

保　管

- お手入れ後、トレイ・タンク・加湿フィルター、抗菌シートなど、各部の水分をよくふき取って陰干しし、十分に乾燥させてください。
  とくに加湿フィルターは十分に乾燥してください。カビや臭気発生の原因になります。
- 保管するときは、取扱説明書といっしょにお買い上げ時の箱に入れるか、ポリ袋などで包み、湿気の少ないところで保管してください。



こんなときは

修理・サービスをお申しつけになる前に下記の点をお調べください。

こんなときは？	調べるところ	処　　置
本体が動作しない	チャイルドロックがセットされていませんか?	チャイルドロックを解除してください。 →4ページ
	電源プラグがコンセントからはずれていませんか？	正しく接続してください。 →6ページ
	給水ランプが点滅していませんか？	タンクに給水してください。 →5・8ページ
タンクに水が入っているのに「給水」ランプが点滅している	フロートが引っ掛かっていませんか？ ゴミなどが、付着していませんか？ フロートが正しく取付けられていますか？	ゴミなどを取り除いてフロートを正しく取付けてください。 →10ページ
	トレイが本体に確実に入っていますか？	本体とトレイの間にすき間がないように、確実にセットしてください。
	タンクをセットした直後ではありませんか？	トレイに水がたまるまで、しばらく待ち、電源スイッチを押してください。
	本体が傾いていませんか？	本体を平らな場所に置いてください。
吹出口から風が出ない	吸気フィルターが汚れていませんか？	吸気フィルターのお手入れをしてください。→11ページ
	加湿フィルターが汚れていませんか？ 目詰まりしていませんか？	加湿フィルターのお手入れをしてください。 →10ページ
	トレイが本体にきちんとセットされていますか?	本体とトレイの間にすき間がないように、きちんとセットしてください。
加湿量が低下してきた （タンクの水が減らなくなってきた）	加湿フィルターが汚れていませんか？	加湿フィルターのお手入れをしてください。→10ページ
	加湿フィルターはセットされていますか？	加湿フィルターをセットください。→10ページ
	吸気フィルターが汚れていませんか？	吸気フィルターのお手入れをしてください。→11ページ
においがする	加湿フィルター・トレイが汚れていませんか？ 水が汚れていませんか？	お手入れをしてください。 →10ページ
タンクから水がもれる	タンクキャップをしっかり締めていますか？ タンクキャップパッキンは取付けてありますか?	タンクキャップパッキンをタンクキャップに取付け、タンクキャップを確実に締めてください。
湿度が上がらない	部屋が適用床面積より広すぎませんか？	「仕様」欄の適用床面積を目安にご使用ください。
	「標準」または「省エネ」モードになっていませんか?	「自動」または「急速」運転モードでご使用ください。
	窓や戸が開いている。	窓や戸を締めてご使用ください。
「湿度表示」と他の湿度計の表示が違う	同じ部屋でも場所によって湿度差があります。また、加湿器の湿度センサーと市販の湿度計では、精度や湿度の変化に対する応答の速さなどが異なるため、必ずしも一致しないことがあります。（湿度表示は目安としてお使いください。）	

こんなときは？	説　　明
湯気（蒸気）が出ない	この加湿器は温風を加湿フィルターにあてて水を気化させる方式です。 湯気（蒸気）は見えません。
タンクから「ポコポコ」と音がする	タンクからトレイに水が供給される時に、タンク内に空気が入ります。このときの音が「ポコポコ」と聞こえます。異常ではありません。
本体の運転スイッチを押しても、本体がすぐに停止しない	運転スイッチを押した後、約30秒間クールダウン運転を行います。本体を停止するときに内部の熱を外に逃がすためです。

部品・消耗品について

製品番号	製　品　名	価　　格
SK-FT12	加湿フィルター（1個）	4,200円（本体価格4,000円）
SK-FT13	抗菌シート（1枚）	630円　（本体価格600円）

加湿フィルターは消耗品です。
加湿フィルターと抗菌シートのお求めは、付属のご注文ハガキをご利用いただくか、販売店または「お客様サービス係」にお問い合せください。

〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2
ツインバード工業（株）　「お客様サービス係」

消費税法の改正により、消費税相当額を含んだ支払総額で価格を表示しています。
消費税は平成16年4月現在の税率に基づいて計算されています。

〈交換の目安〉

加湿フィルター：
- お手入れしても異臭がする。
- 加湿されない（タンクの水が減らない）
- 加湿フィルターの傷みがひどい。

抗菌シート：
- やぶれたりして傷んだとき。

アフターサービス

1.保証書
- 裏表紙に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日と販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2.保証期間
お買い上げ日から1年間です。
ただし、加湿フィルターは消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3.修理を依頼されるとき
取扱説明書の内容をお確かめいただき、なお異常があるときは、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

●保証期間中の修理
保証書の規定により無料修理します。
製品に保証書を添えてお買い上げの販売店または「お客様サービス係」までお申し出ください。

●保証期間がすぎている修理
修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。

4.補修用性能部品の保有期間
- この湿度センサー付ハイブリッド加湿器の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後5年です。
- 性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

5.アフターサービスについてご不明の場合
お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にお問い合わせください。

〈修理料金のしくみ〉
修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

〈修理部品について〉
修理部品は、部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。

お客様サービス係
(フリーダイヤル) 0120−337−455
FAX　(0256) 93−1077
お電話承り時間:平日（月曜〜金曜）午前9時〜午後5時
〒959-0292　新潟県燕市吉田西太田2084-2

お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

仕　様

電源	AC100V 50／60Hz		
運転モード	急　速	標　準	省エネ
消費電力	380W	240W	25W
加湿量（約）※1	500mL／h	320mL／h	180mL／h
使用時間の目安※1	約8時間	約12時間	約22時間
タンク容量（約）	4.0L		
適用床面積〈目安〉※2「急速」運転時	木造和室	8.5畳	
	プレハブ洋室	14畳	
電源コードの長さ（約）	1.8m		
製品寸法（約）	幅:365×奥行:200×高さ:395mm		
製品質量（約）	6.0kg		
付属品	加湿フィルター…1、抗菌シート…1（ともに本体装着済）		

注）運転が「切」の状態でも約0.2Wの電力を消費しています。

※1：室温20℃、湿度30％での値です。

※2：適用床面積の目安は日本電機工業会規格（JEM1426）に基づき、プレハブ住宅洋室の場合を最大適用床面積とし、木造和室の場合を最小面積としたものです。ただし、壁・床の材質、部屋の構造、使用暖房器具などによって適用床面積は異なります。

●この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

愛情点検

★長年ご使用の加湿器の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。	●水もれする。●電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。●電源コードに傷が付いていたり、電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。●本体が異常に熱かったり、こげ臭い臭いがする。●運転中に、異常な音や振動がする。●その他の異常・故障がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。